

## 2012 JCF ジャパンシリーズ第5戦 富士見パノラマ大会 レースレポート

MIYATA-MERIDA BIKING TEAM 齊藤 亮

大会名：2012 ジャパンシリーズ第5戦富士見パノラマ大会

期日：2012年9月17日（祝）

会場：富士見パノラマリゾート JCF 公認 XCO コース

天気・気温：曇/雨・24℃

競技種目：男子エリート 4.0km×7Laps

出場者数：68名

レース結果：優勝

.....  
いよいよ今シーズンも後半戦に差し掛かり、シリーズ戦も残すところ後3レース。Jシリーズ第4戦の富士見パノラマ大会から2カ月程の期間が開いての今大会5戦目も富士見パノラマがレースの舞台。今夏はしっかりとトレーニングを重ね、メニューや課題を見直すには十分な時間があり、心身ともに充実した日々を過ごすことが出来た。

富士見でのレースは今シーズン3度目。今大会のコースはこれまでよりも登りのパッシングポイントが多く設定されており、よりエキサイティングで高速レースが予想された。また男子エリートはダウンヒルAコースのロックセクションが追加され、よりテクニカルで正確なライン取りが重要とされる。ガラリと変わったコースに対応すべく、レースの2週間前に富士見を訪れバイクテストとコース試走を何度も繰り返した。富士見のコースに対する苦手意識はないものの、全日本選手権と第4戦富士見大会では同じような負け方を経験したことから、自分なりに対策と戦術をもう1度見直した。その結果、29er「BIG.NINE CARBON TEAM-D」から26インチ「O.NINE SUPERLITE TEAM-D」に切り替えることに決めた。

26インチのバイクにスイッチしたことでタイヤのバリエーションも増やせる。絶対の信頼を寄せるIRCタイヤ。天候の変化が激しいため、ドライからセミウェットまで対応できる MYTHOS XC TUBELESS READY (26×2.1) をチョイス。ケミカルとケアラインはもちろんホルメンコール。僕の要望を的確に聞き入れてくれ、バイクを最高の状態に仕上げくれる。コーティングされ黒光りしているバイクにテンションが上がらない訳がない。チームスタッフ、サプライヤーの皆さんと力強い握手を交わし、ステージングボックスへと向かった。

男子エリートのスタートは12時45分、7周回。10分前に招集コールが開始され最前列に並ぶ。集中力を高め、気持ちを落ち着かせる。そして号砲一発、良い反応でペダルをキャッチしスタートダッシュ。全開でもがく。やはりスタートからかなりのハイペース。もちろんそれは想定内。スタートから続く緩斜面の登りを終えて、最初のシングルトラックを3番手で通過。呼吸が乱れていてもしっかりとバイクコントロールが出来ている。自分に劣っている部分、自分の方が優れている部分、そんなことを冷静に分析しながらライバルの様子を伺う。思いの外登りのペースがゆっくりと感じるためリズムが取りづらい。すぐさま先頭に出てペースを上げる。後続の選手と少し差が出来た。このペースで離れるのか・・・そう思うと、より一層ペ



ースを上げ後続の様子を伺う。1周目をトップで通過し2周目へ。後続との差は40秒程。ファーストラップは14分を切っている。オーバーペース気味かな・・・と思ったが、身体の調子が非常に良い。脚も回っている。上体もうまく連動している。大丈夫だ！今日はイケる！確かな手応えを感じていた。最大のライバルである山本和選手（キャノンデールレーシングチーム）との差をしっかりと把握しながら、淡々とラップを刻んでいく。3周目で48秒、4周目で1分10秒程の差が付いた。今まで戦ってきたレースとは全く違う展開。勝ちたいと思う強い意志が自分を奮い立たせる。負けの経験を繰り返したことで気付いたこと、気付かされたこと。このレースに掛ける強い意気込みは僕だけじゃない。チームも一緒。メインスポンサーであるミヤタサイクル社員の大応援団の前を通過する時は鳥肌が立つ程大声援を送ってくれる。いよいよ最終ラップを迎え後続との差は2分40秒まで広がっていた。最後まで何があるか分からない。集中力を切らさずに攻め続ける。すべての力を出し切るように粘り、持てる体力、持てる技術の全てをぶつけて走る。ゲレンデ中央のシングルトラックにある丸太ドロップを越えたとき、やっと勝利を確信した。そしてチームスタッフ、サブライヤー、ミヤタサイクルの大応援団が待つフィニッシュエリアへトップで飛び込んだ。

2位との差は3分17秒。本当に気持ちがいい瞬間だ。開幕戦以来の勝利。やはり感極まってしまう・・・。失敗し、反省し、そして工夫をしていけば、ここに辿り着けることを改めて知った。自分がやってきた努力は自分が一番知っている。だからこそ精神的な辛さは工夫次第でいくらでも楽しいものになると感じた。本当にたくさんの支えがあって掴んだ価値ある1勝。次戦に向けてまた気持ちを切り替えていきたいと思いません。目標は2012年ジャパンシリーズチャンピオンになること。チームスタッフを始めとする、多くのサブライヤー様方、ファンの方々、応援・サポート本当にありがとうございました。

#### 【レース結果】

1. 齊藤 亮	長野県/MIYATA-MERIDA BIKING TEAM	1 : 41 : 08.06
2. 山本和弘	北海道/キャノンデールレーシングチーム	+ 3 : 17.29
3. 平野星矢	長野県/ANCHOR CYCLING TEAM	+ 5 : 23.45
4. 小野寺健	京都府/TEAM SPECIALIZED	+ 5 : 31.81
5. 松本 駿	長野県/TREK	+ 7 : 01.32
6. 門田基志	愛媛県/TEAM GIANT	+ 9 : 56.24

#### 【使用機材】

バイク : MERIDA / O.NINE SUPERLITE TEAM-D

フロントフォーク : DT-SWISS / XRC100 RACE REMOTE

クランクセット : FSA/K-FORCE LIGHT HOLLOW CARBON-MTB

サドル : SELLE ITALIA SLR XC

ホイール : ALEX XCR SUPERCOMP PRO

タイヤ : IRC / MYTHOS XC TUBELESS READY (26×2.1)

シューズ : NORTHWAVE / エクストリームテック MTB S.B.S

ヘルメット : KABUTO / REDIMOS

サングラス : adidas eye wear / evil eye halfrim pro / クリスタル S グラデーション

ケミカル : **HOLMENKOL**

メーター : POLAR / RS800CX BIKE

エネルギージェル : shotz ENERGY GEL

ドリンク : Electrolyte shotz

レースウェア : WAVE ONE

レースソックス : deuter

レースグローブ : KABUTO / PRG-1

アンダーウェア : CRAFT

インソール : SUPER feet / Black

ネックレス : erg

アパレルウェア : Columbia

テーピング : New-HALE

